

文献 27

Huang LP, Zhou S, Lu Z, Tian Q, Li X, Cao LJ, Yu JH, Wang H. Bilateral effect of unilateral electroacupuncture on muscle strength. Journal of alternative and complementary medicine. 2007; 13(5): 539-46. MEDLINE®; 1946 to date (1946 - current) Web ID: 17604558

1. 目的

4 週間の片側鍼通電刺激が両側の脚筋力に及ぼす影響を明らかにすること。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

Tianjin University of Sport

4. 参加者

健常男性 30 名。活動的ではあるが特別な筋肉トレーニングを行っておらず、鍼治療経験のない者とした。

5. 介入

被験者を鍼通電治療群 (EG) と対照群 (CG) に分けた。EG は ST36 足三里と ST39 下巨虚とし、40Hz で 15 分間刺激した。15 分間のうち刺激リズムは 1 分間オン、1 分間オフを繰り返すものとした。

6. 主なアウトカム評価項目

足関節 20° までの最大背屈力

7. 主な結果

EG の最大背屈力は両方の脚で有意な増加が見られ、CG よりも有意に高かった。

8. 結論

経穴を使った片側への鍼通電刺激は両側の筋力を改善させる。これらの発見は理学療法やリハビリテーションへの意味合いをもたらす可能性がある。

本研究の結果は鍼通電刺激の特異的な効果であるとは言い切れない。電気刺激が神経幹、神経線維を通して筋肉へ伝わった結果、得られた現象であると考えられることから、今後は経皮的電気刺激、鍼通電刺激、鍼によるマニュアル刺激、経穴刺激、非経穴刺激を比較することが必要であると考えられる。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

鍼通電刺激の特異的な効果であるとは言い切れないものの、片側への鍼通電刺激が両側の筋力を改善させることを示唆しており、興味深い論文である。より詳細なメカニズムの解明、また他の手法との比較など、研究の進展を望む。

11. Abstractor and date

吉田成仁 2016. 3. 26